

## 基準

地域の主要な眺望点からの眺望を妨げない位置及び規模とすること

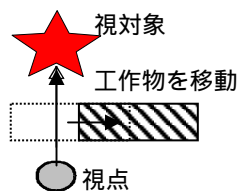
## 考え方

良好な眺望は、その地域の重要な景観資源といえますが、大規模工作物は、その計画や設計において、主要な視点場からの眺望景観を考慮していなければ、工作物の高さや規模によって、重要な景観資源を損なうおそれがあります。

したがって、大規模工作物の建設にあたっては、主要な視点場からの眺望を十分調査し、計画、設計段階から、良好な眺望を阻害しない位置、規模の検討を行うことが望まれます。

## 配慮事項

- ・ 自然景観のなかにおいては、主要な眺望点からの眺望を基準として、位置や規模を検討する。
- ・ 市街地では道路、公園、広場等を眺望点とした街並みの見え方を基準として、位置や規模を検討する。
- ・ 眺望に配慮して位置の工夫や規模を抑える検討をする。



## 景観形成事例



那須高原への眺望の中に溶け込む、まとまりのある大規模工作物群。(那須町)



まちが一望できる公園からの視線に配慮し、地域の特色である、広がりのある眺望景観を大切にしている。(砺波市)

3 工作物の新築、増築、改築、移転又は外観の変更

位置及び規模 [ b . 稜線への配慮 ]

基準

山<sup>りょう</sup>稜<sup>りょう</sup>の近傍にあっては、稜線を遮らない位置及び規模とすること

考え方

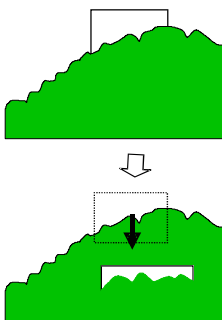
山なみがつくる稜線は、遠景における自然の美しさを感じさせる重要な要素です。

しかし、工作物のうち、特に直線で構成された、長大な壁面などの形態を持つ場合にあっては、自然の形態である稜線と、不調和が生じる場合があります。

そこで、視点場を意識したうえで、工作物の位置や規模を工夫し、工作物の形態との不調和を起こしたり、山なみのつくる自然の連続性を持った稜線を遮ることのないよう計画することが望まれます。

配慮事項

- ・長大な幅や壁面を有する工作物は、その位置を工夫し、周辺樹林等を残すなどにより、稜線を分断しないよう配慮する。



- ・工作物の位置について稜線への配慮が難しい場合は、工作物の分割による小型化、外観デザインの稜線との調和等に配慮する。

景観形成事例



巨大な工作物だが、周辺の地形や樹林によって、目立たない場所に配置されている。(東京都)



稜線を分断しない位置にあり、背景となる山林にとけ込んでいるため、違和感が軽減されている。(兵庫県日高町)



工作物ができるべく目立たないよう、周囲の樹林の高さを越えない規模としている。(岩手県金ヶ崎町)

## 基準

道路、河川等公共的な空間に接する部分は、歩行者等に対する圧迫感、威圧感等を緩和するような位置及び規模とすること

## 考え方

大規模工作物は、歩行者空間に近接した配置を行ったり、あるいはその規模によっては、歩行者に圧迫感、威圧感を与えることがあります。

大規模工作物の圧迫感、威圧感を抑制し、ゆとりある道路景観、河川景観を創出するために、歩行者の行き交う道路や河川等の公共空間に接する部分には、できる限り空間を確保することや、開放感を確保するために、できる限り上空を覆うことのないような配慮が望まれます。

## 配慮事項

- ・歩行者空間に対して、後退距離を確保するとともに、接道部分の緑化や敷地における歩行者空間との一体化に配慮する。

## 景観形成事例



歩行者空間に近接してモニュメントを設置したオープンスペースを確保し、ゆとりのある空間と市街地におけるアクセントを形成している。(佐野市)



歩道に面して柵は設置せず、ゆとりある空間が確保され、うるおいを提供する水辺によって、モニュメントと緑を効果的に見せている。(東京都新宿区)

3 工作物の新築、増築、改築、移転又は外観の変更

位置及び規模 [ d . 歴史性への配慮 ]

基準

歴史的な建造物等に近接する場合は、歴史的景観の保全に配慮した位置及び規模とすること

考え方

歴史的建造物等は地域の歴史や文化を伝える重要な景観資源です。

新たな工作物により街並みの連続性が途切れたり、その歴史や文化を伝える景観が阻害されたりすることのないよう、その位置や規模を計画する必要があります。

配慮事項

- ・ 道路等の公共空間から離し、周囲の景観と不調和にならないように配慮する。
- ・ 歴史的建造物等がつくる街並みの連続性に合わせた位置や規模に配慮するとともに、これに調和した色調とするなど、歴史的雰囲気大切にす。

配慮が望まれる事例



まちなみの歴史的な雰囲気に配慮した文化施設の背後に、大きな鉄塔があり、視点場からの景観を阻害している。(他県事例)



景観形成事例



鉄塔の位置を文化施設から後退させることで、視点場から目立たないようにすることができる。(フォトモンタージュ)

## 基準

水辺に近接する場合は、水際線を遮らない位置及び規模とすること

## 考え方

水辺の景観はうるおいを人々に与えます。水辺がすっきりとした景観であると、広がりや美しさを感じさせることができます。このようなうるおい、広がり、美しさを持った水辺の景観を保全、創出する工作物の位置を計画することが重要です。

## 配慮事項

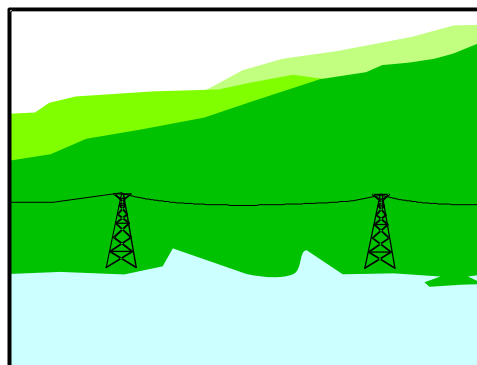
- ・ 水辺から離し、水辺沿いの景観に調和するよう配慮する。
- ・ やむを得ず水辺に近づく場合には、水辺がつくる水際線の連続性を分断しない位置や規模の工夫を図る。

## 景観形成事例



水辺の水際線から、展望台や鉄塔など工作物における位置の距離をとり、その間に緑地を配置している。(西那須野町)

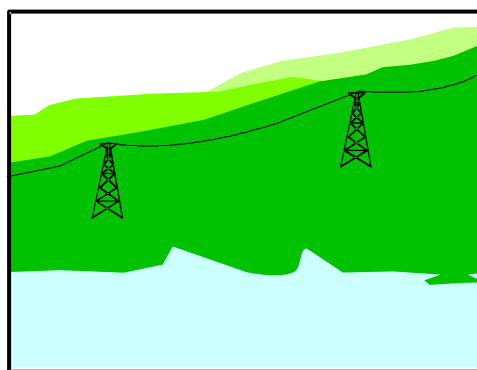
## 配慮が望まれる例



大規模な鉄塔の工作物が水辺に近接し、水辺の景観を阻害している。



## 改善例



鉄塔の位置を水際より離すことで、良好な水辺の景観を保全できる。

3 工作物の新築、増築、改築、移転又は外観の変更

形態及び意匠 [ a . 周辺の景観との調和への配慮 ]

基準

周辺の景観と調和する形態及び意匠とすること

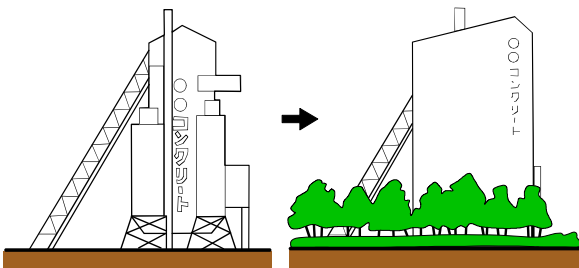
考え方

大規模工作物の形態や意匠は、その工作物だけでなく、背景を含めた周辺景観を印象付ける重要な要素となります。

したがって、工作物の付属する装置など、形態を構成する要素を、まとまりある工作物として一体的に計画すると同時に、意匠を施す場合は、背景となる周囲の景観や街並みがつくる基調とも調和させることが望まれます。

配慮事項

- ・街並みと調和するよう工作物の形態に配慮する。
- ・自然景観のなかでは、背景となる平地林や山並みと調和する形態や、周囲の自然と違和感の生じない意匠に配慮する。



景観形成事例



シンプルな形態に幾何学的な意匠を施し、施設全体が一体的なまとまりある印象を与えている。(栃木市)



単純な形態、意匠が、逆に煙突らしさから一線を画す、斬新なデザインとなっている。(東京都江東区)

## 基準

歴史的な建造物等に近接する場合は、伝統的な意匠を継承し、又はその歴史的な建造物等と調和する形態及び意匠とすること

## 考え方

歴史的建造物等は、地域の歴史や文化を伝える重要な景観資源であり、周辺の街並みにおいても、これらを基調とした景観形成を図っていくことが望めます。

そのために、新たな工作物の設計や計画においても、伝統的な形態及び意匠を継承し、歴史的景観と調和するよう努めることが望めます。

ただし、大規模工作物は、その機能に基づく形態を基本とし、伝統的な形態及び意匠を、直裁に模倣するような表現とならないよう、注意が必要です。

## 配慮事項

- ・歴史的な形態及び意匠を採用する場合には、安易な模倣とならないよう配慮する。
- ・地域固有の歴史的形態及び意匠が伝わる場合には、それを生み出した歴史的背景、地域特性を十分理解し、その継承に努める。

## 景観形成事例



歴史的意匠を取り入れ、周辺の施設とも調和させながら、地域の新たな文化を創出している。(益子町)



伝統的意匠を施した独立した施設に、再開発地内に古くからあった地蔵を移設して、地域の歴史や文化を伝えている。(東京都新宿区)

## 3 工作物の新築、増築、改築、移転又は外観の変更

## 色彩 [ a . 色彩への配慮 ]

## 基準

地域の特性に配慮し、周辺の景観に調和する色彩とすること

## 考え方

大規模工作物の色彩は、街並みに対する調和の重要な要素といえます。特に大規模工作物は壁面積も大きいいため、その影響も大きいものとなります。

その大規模工作物が、一定の色彩を基調とする中にある場合、その基調となる色彩の範囲から逸脱すると、景観との調和が損なわれます。

工作物の色彩の決定にあたっては、背景となる街並みや自然の基調となる色彩などとの関係を十分考慮に入れ、背景に対して過度に鮮やかな色彩、あるいは明るい色彩を大面積に使用することは避け、周辺の景観と調和を図っていくことが望まれます。

## 配慮事項

- ・基本的に、彩度を抑えた色彩を工作物の色彩の基調とするよう配慮する。
- ・背景となる景観との明度差の小さい色彩を工作物の基調とするよう配慮する。
- ・歴史的景観のなかでは、街並みの基調となる色彩を十分調査し、基調色との調和に配慮する。
- ・自然景観のなかでは、背景となる自然になじむ色彩に配慮する。
- ・アクセントカラーを導入する場合は、周辺や施設の基調となる色彩と使用する面積割合とのバランスに配慮する。

## 景観形成事例



建築物などの周辺の施設とデッキの色彩を調和させ、一体的な空間を形成している。(東京都港区)



背景に溶け込む色彩の使用により、大規模ながらも自然に調和している。(塩原町)



排気塔、舗装、建築の外装の色彩を、圧迫感を抑制した明るい色彩に統一し、緑と調和した一体的な空間を形成している。(東京都新宿区)



## 基準

外壁には、できる限りその地域で産出した材料又はその地域で伝統的に使用されている材料を用いること

## 考え方

地場産材などのその地域で産出した材料や伝統的に使用されている材料を、工作物の外装材などとして使用することによって、地域に親しまれる工作物の表情を生むとともに、地域固有の街並み景観の形成へとつながります。

地域の歴史や文化を育むために、周辺の景観との調和を図りつつ、地域に親しまれてきた自然の材料や伝統的材料を、積極的に景観づくりに生かしていくことが望まれます。

## 配慮事項

- ・ 景観の質の向上に寄与する材料を使用するよう配慮する。
- ・ 自然景観のなかでは、光沢のある材料の使用は慎重に行い、周囲と違和感のない景観とするよう配慮する。
- ・ 歴史的景観のなかで、伝統的材料、自然の材料を利用できない場合は、意匠や色彩等の工夫により、周囲と違和感のない景観とするよう配慮する。
- ・ 周辺の街並みにない、新たな材料を多用する場合には、その街並みに対する景観的な影響について配慮する。

## 景観形成事例



工作物の外装に、時とともに風格を増すレンガを用いることにより、落ち着いた表情を作り出し、周辺の自然にとけこんでいる。(岩手県雫石町)



外装に地域の特性を生かした木材を使い、歴史的な雰囲気大切にしながら、地域らしさを演出している。(岩手県大槌町)



地場産の大谷石を各所に用い、地域らしさを感じさせている。(宇都宮市)

## 3 工作物の新築、増築、改築、移転又は外観の変更

## 材料 [ b . 耐久性への配慮 ]

## 基準

外壁には、経年により景観を損なうことのないよう耐久性に優れた材料を用いること

## 考え方

工作物の外装材は、その工作物の表情を決める要素であり、また、長期間にわたって、その地域の景観に影響を与えつづけるものとなりますが、汚損や老朽化などが、材料によっては当該工作物における建設当初の魅力を失わせ、さらに地域の景観にも影響が及ぶことが考えられます。

これに対し、耐久性の高い外装材の使用によって、設計や計画時に検討した景観に対する配慮を維持することができるとともに、建設当初の魅力を伝えていくことができます。

レンガや石材等、汚れや老朽化が目立たず、年月を経て風格が増すような材料を、必要に応じて外装材に使用し、地域になじむ景観形成に寄与していくことが望まれます。

## 配慮事項

- ・ 耐久性のあるメンテナンスが容易な材料を選ぶよう配慮する。
- ・ レンガや石材などの汚れが目立たず、年月を経て風格の増す材料の導入を検討する。

## 景観形成事例



歴史性を取り込んだ意匠と、自然になじむ耐久性のある材料により、風格のある景観を創出している。(宇都宮市)



アルミとガラスによる耐久性の高い材料を使ったエレベータシャフトは、メンテナンスが容易で都市的な景観に調和している。(横浜市)



コンクリート材料による排気塔は、経年変化による風格が増しつつある。(横浜市)

基準

敷地内は、周囲の自然との調和に配慮し、できる限り緑化すること

考え方

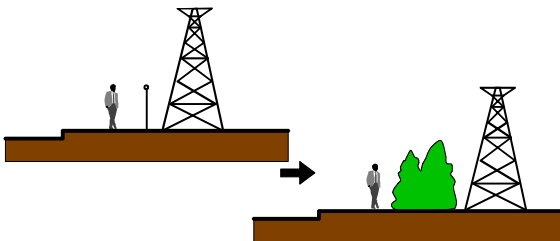
大規模工作物の立地する敷地及び周辺においては、多くの場合、その工作物の持つスケール感からくる圧迫感、威圧感を受けるおそれがあります。

こうした印象を和らげるためにも、工作物と周囲の景観をつなぐ要素として、敷地内は可能な限り緑化していくことが望まれます。

これにより、工作物から受ける圧迫感などを緩衝し、安らぎを与えるような配慮が望まれます。

配慮事項

- ・ 工作物の圧迫感、威圧感を軽減するよう、歩行者空間と接する場所では敷地を緑化し、空地を確保するなどの工夫を図る。



景観形成事例



電波塔に類する工作物の親しまれやすい形態の工夫に加え、敷地及び周辺の緑を残し、高さによる突出感を極力抑制している。(多摩市)



工作物周辺を、様々な樹種により緑化し、圧迫感を抑制している。(東京都新宿区)



橋脚の周囲における斜面を中高木により緑化し、圧迫感を抑制している。(多摩市)

## 3 工作物の新築、増築、改築、移転又は外観の変更

## 敷地の緑化 [ b . 既存樹木への配慮 ]

## 基準

緑化に際して、形状又は樹勢の優れた既存の樹木がある場合は、保存又は移植により、修景に活用すること

## 考え方

既存の優れた樹姿、樹勢を持つ樹木等は、永きにわたりその地域の景観を特徴づける重要な役割を果たしてきたといえるでしょう。

大規模工作物の建設に際し、このような樹木等が敷地内にある場合は、地域の歴史を受け継ぎ、また、街並みに対するうるおいを与えることを考慮し、計画、設計の段階から保全あるいは移植を検討し、緑化修景に役立てることが望まれます。

## 配慮事項

- ・大木等のランドマーク性に配慮し、これを生かすよう、工作物の位置や規模を工夫する。
- ・既存の場所での保全が難しい場合は、移植などを検討する。

## 景観形成事例



駐車場の敷地内に残された縦・梅類の既存樹木によって、周辺の植生と一体となり、施設全体が景観にとけこんでいる。(日光市)



湖畔に面したボードウォークの整備にあたっては、既存樹を残している。(日光市)

### 基準

樹木による緑化に際しては、周囲の景観及び植生と調和し、その地域で親しまれている樹種を選択すること

### 考え方

大規模工作物の敷地内を積極的に緑化していくにあたり、敷地を含む大規模工作物全体が地域の景観に調和していくために、その樹種が地域の植生と調和していることが重要となります。

本県の地域における植生などを十分調査し、在来種等の地域で親しまれた樹種を選定することで、地域の特性を尊重した景観づくりを進めていくことが望まれます。

### 配慮事項

- ・ 樹木と工作物との調和や、道路植栽などとの一体性に配慮する。
- ・ 周囲に樹林地等がある場合には、それらの在来種との調和を図る。

### 景観形成事例



実がなる、花が咲くなどの複数の種による地被類を植栽し、季節を問わず、見る者の目を楽しませる工夫が図られている。(東京都渋谷区)



多種多様な花を植栽し、見る者の目を楽しませている。(東京都中央区)

## 3 工作物の新築、増築、改築、移転又は外観の変更

## その他 [ a . 屋外照明の過剰光量への配慮 ]

## 基準

屋外照明を設置する場合は、夜間の景観を良好なものとし、かつ、過剰な光が周囲に散乱しないよう配慮すること

## 考え方

屋外照明は、夜間の安全を確保する機能ばかりでなく、ライトアップにより工作物そのものを美しく見せるなど、夜間景観を演出する重要な要素であるといえます。

しかし、ところによっては、周辺に対して必要以上に光量を確保した結果、その漏れ光が夜景の落ち着きを乱したり、生態系へ悪影響を与えるなどの要因となる場合があります。

したがって、屋外照明の導入にあたり、その照明方法や光源のタイプ、光量などは、周囲への影響を十分考慮し、落ち着いた夜間景観を演出するような配慮が望まれます。

## 配慮事項

- ・まぶしさを防ぐため、直接、光源が見えないように配慮する。
- ・歴史的景観のなかでは、暖かみのある光色を採用し、夜間の歴史景観を演出するように配慮する。

## 景観形成事例



大規模工作物である観覧車に設置された動きある照明が、夜間の景観を彩りあるものになっている。(東京都文京区)



デッキの手すりや階段、カスケード、舗装など様々な場所に照明を設置し、にぎわいの空間を演出している。(東京都港区)



広場のベンチや階段にフットライトを設置し、明るさと暗さのコントラストを雰囲気づくりに生かしている。(東京都中野区)

## 基準

工事中は、敷地の周囲の緑化、景観に配慮した工事塀等により、できる限り修景の工夫をすること

## 考え方

大規模工作物の工事中の周辺は、重機や資材が行き交い、敷地周辺の歩行者などに対して、不安感や雑然とした印象を与えがちになります。

工事は一時的な行為ですが、その期間にあってもできる限り景観的配慮に努め、工事囲いによる遮へいを行うとともに、グラフィックを施すなどの不安感等を和らげる工夫や、プランターなどの敷地境界部の緑化等による、周辺に調和した修景に努めることが望まれます。

## 配慮事項

- ・ 工事用囲いを設置する場合は、周囲の景観への違和感を軽減するため、工事用囲いにグラフィックを施すなどの工夫を図る。
- ・ 敷地に余裕のある場合や、自然景観のなかでは、緑化による遮へいを検討する。

## 景観形成事例



工事用仮囲いの塀にペイントを施し、単調で近寄りたがいの空間となることを緩和している。(名古屋市)



工事用仮囲いにペイントを施し、圧迫感、不安感を与えがちな空間に対し、親しみやすさを演出している。(川越市)



道路と工事区域を仕切る仮囲いは、ストライプ状に設置し、景観面の演出と交通の安全に機能させているほか、のぞき窓もあって工事の様子をうかがうこともできる。(さいたま市)

## 3 工作物の新築、増築、改築、移転又は外観の変更

## その他 [ c . 工作物に附帯する広告物への配慮 ]

## 基準

工作物に附帯する広告物は、工作物本体及び周辺の景観と調和する位置、規模、形態、意匠、色彩及び材料とすること

## 考え方

屋外広告物は、生活に必要な様々な情報を提供する役割を持ち、市街地における賑わいを演出する要素でもあります。一方で、その無秩序な掲出は、街並みの連続性を乱し、周囲の景観との不調和を生むおそれがあります。

基本的には、屋外広告物法に基づき、その掲出規模や場所、形態、色彩などについて規制されていることから、これを遵守する必要がありますが、さらに景観づくりにおける視点からも、現況の街並みや背景となる自然などに対し、ふさわしい屋外広告物のデザインとしていくことが望まれます。

## 配慮事項

- ・ 計画段階から屋外広告物の設置を考慮して工作物全体のデザインを検討する。
- ・ 広告物の形状や表示方法についても、附帯する工作物のデザインや周囲の景観、まちづくりの方向性に配慮する。
- ・ 広告物は低層階に集中させ、眺望や遠方からの視線における景観に配慮するとともに、歩行者空間の賑わいに寄与するよう配慮する。

## 景観形成事例



周辺の自然景観を阻害しないよう、広告物の高さを抑え、低彩度による色彩としている。(那須町)



集約した広告物の控えめな文字表示とモニュメントとして機能するデザインにより、街並みの印象を高めている。(東京都新宿区)



サインや広告物を集約して設置し、広場に調和した素材による造形的なモニュメントを兼ねている。(東京都渋谷区)



### 基準

工作物の移転後の跡地は、周辺の景観と調和させること

### 考え方

大規模工作物が移転した跡地などでは、やがて他の土地利用などがなされる場合が多いものの、長期間にわたって広大な土地が放置され、危険な荒地となる場合や資材置き場等の暫定利用がなされる場合も見受けられます。

こうした長期的に広大な敷地を管理する場合に加え、一時的な場合であっても、周囲の景観に与える影響は大きいいため、周辺景観に対して不調和とならないように、遮へいや緑化などの調和を図る工夫が望まれます。

### 配慮事項

- ・跡地の緑化や、塀の設置を行い、周囲の景観との不調和が起きないように配慮する。
- ・自然景観のなかでは、周囲の農村景観や平地林、山なみと調和する緑化を行うよう配慮する。
- ・移転跡地への不法投棄などが発生しないよう、管理を十分に行う。

### 景観形成事例



民間所有の空地进行、市が借り受け、管理しつつ「ふれあいの森」として市民に開放している。(上尾市)